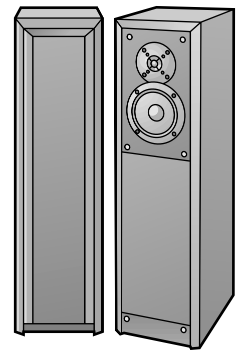
Panasonic

スピーカーシステム

取扱説明書

品番 SB-AV502



このたびは、スピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🚫	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意

以下のことを守り正しく設置する

- 不安定な場所に置かない
- 上に大きなもの重いものを載せない
- 壁や天井に取り付けない

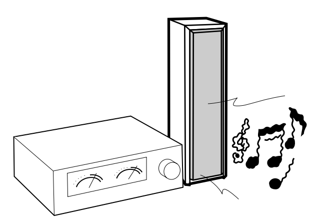
機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない



- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

スピーカーの許容入力を超えるアンプに接続しない



- 定格以上の出力を持つアンプに接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　　－	お買い上げ日	年　月　日
お 客 様 ご相談窓口	☎（　　）　　－	品番	SB-AV502

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505 大阪府門真市松生町１番４号

RQT5198-S
F0699NO(D)

使用上のお願い

■故障の原因になりますので、以下のような場合はアンプの音量を下げてください。

- 本機の許容入力以上の信号が入るおそれのある場合
  - ーアンプのトーンコントロールやイコライザーで高・低音のレベルを上げるとき
  - ーアンプなどの電源ボタンを入／切するとき
- 次のような信号が連続して入力される場合
  - ーFM 放送の局間雑音
  - ーテープデッキの早送り再生・巻戻し再生時のキュルキュルという高い音
  - ーマイクやレコードプレーヤーのハウリング音（ワーン、キーンという音）
  - ー発振器や電子楽器、テストレコードなどによる連続的な信号音

通常のソースを聞く場合でも、音量を上げすぎないようにご注意ください。

■磁気を帯びたものを近づけないでください

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

■本スピーカーのインピーダンスと許容入力

インピーダンス：６Ω
許容入力：80W（DIN）

お願い

本スピーカーが接続できるアンプは、定格出力が80W（インピーダンスが６Ωのとき）またはそれ以下のものに限ります。
この定格以外のアンプを使用すると、アンプやスピーカーが破損したり、火災の危険が生じる場合があります。もし、破損が生じたり、演奏中に突然異常が生じたときは、システムの電源コードを抜いて専門のサービスマンにご相談ください。
なお、アンプによっては複数の定格出力を記載しているものがありますのでよくご確認ください。

設置のしかた

■本機は左右同じ形をしています

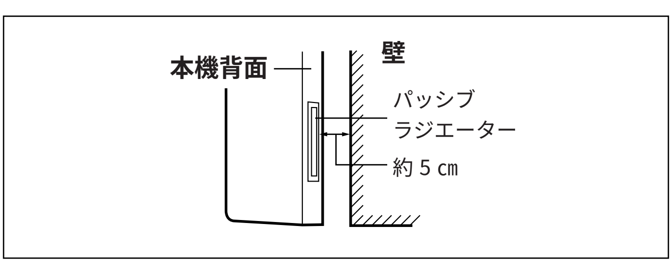
■次のような設置場所は避ける

- 振動の多いところ
- 湿気の多いところ
- 直射日光のあたる場所など温度が高いところ

■よりよい音響効果を得るために、できるだけ以下のように設置してください。

●平らで堅くしっかりした床、または台に置く

●背面を広くて堅い壁にそわせる



本機は背面パッシブラジエーター方式を採用していますので、壁から５cm程度離してください。

●スピーカーと向かい合う面に厚地のカーテンなどを掛ける

向かい合う面が堅い壁やガラス戸の場合、反射や共振を防ぎます。

●レコードプレーヤーと離す

レコードプレーヤーに振動が伝わり、ハウリング（ワーン、キーンという音）を起こすことがあります。距離を十分にあけるか、レコードプレーヤーの下にフェルトなどを敷くと防げます。

■テレビに色ムラが生じた場合、テレビとの距離を離す

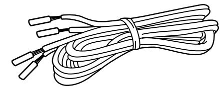
- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム＜防磁設計（EIAJ）＞ですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

＊「防磁設計（EIAJ）」とは（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

接続のしかた

付属品

スピーカーコード（REE0616）（長さ：2m）1 本



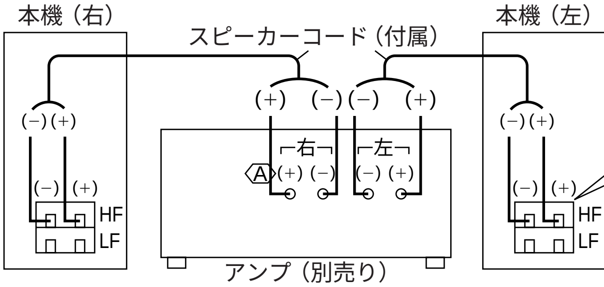
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。かっこ内の数字は買い替え時の品番を表します。

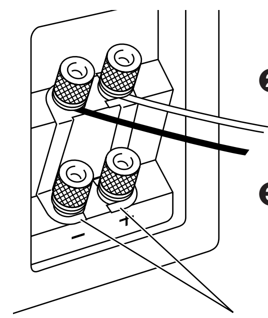
■接続の前に

- スピーカーインピーダンスが、6 Ωのスピーカーに合ったアンプをご使用ください。
- 接続する前に必ずアンプの電源を切ってください。
- 端子の（右）（左）と（+）（−）を確認し、正しく接続してください。
- より良い音質でお楽しみいただくために、スピーカーコードは“HF”端子（上側）に接続されることをおすすめします。

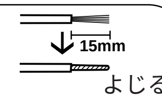
■スピーカーコードの接続

ショートバー（Ⓐ）は、取り外さないでください。





❶ 表皮を 15 ㎜むき、芯線をよじる。



❷ 穴が見えるまで端子を左へ回す。

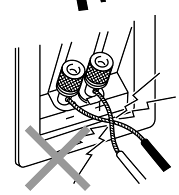


❸ コードを穴へ差し込み、端子を右へ回して締める。



お願い

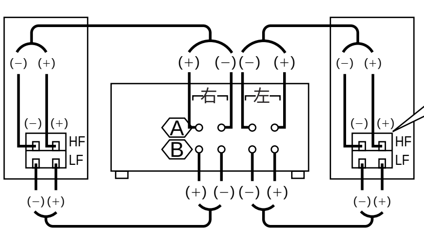
スピーカーコードの（+）（−）は絶対にショートさせないでください。

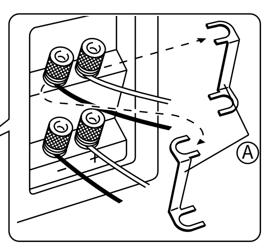


バイワイヤリング接続（さらにクリアな音で）

本機の端子は、中高域（HF）用と低域（LF）用を独立させています。アンプに A、B などの 2 系統のスピーカー端子がある場合は、この接続することにより、互いの干渉ノイズの少ないクリアな音をお楽しみいただけます。

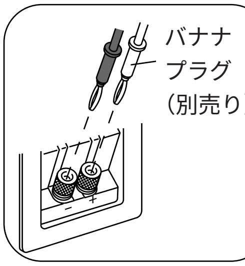
- スピーカーコードをもう 1 本ご用意ください。
- ショートバー（Ⓐ）は、取り外します。（必ず保管してください。）
- アンプのスピーカー切換スイッチは A + B にします。（詳細はアンプの取扱説明書をご覧ください。）





■バナナプラグ（4 ㎜プラグ）を使うときは

端子のつまみを完全に締めて接続してください。



主な仕様

型式	3 ウェイ 4 スピーカーシステム D.D.D.（デュアル・ダイナミック・ドライブ）型
使用スピーカー	
ウーハー	18 ㎝角型パッシブラジエーター× 2 （14 ㎝コーン型ドライバー× 2）
ミッドレンジ	14 ㎝コーン型
ツィーター	2.5 ㎝ドーム型
インピーダンス	6 Ω
許容入力	160 W（ミュージック） 80 W（DIN）
出力音圧レベル	86 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	90 Hz, 2.5 kHz
再生周波数帯域	35 Hz ～ 70 kHz（− 16 dB） 41 Hz ～ 55 kHz（− 10 dB）
外形寸法（幅×高さ×奥行）	214 × 890 × 365 ㎜
質量	18.5 ㎏

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケットシンボルマーク

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

・修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
・その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき
もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、スピーカーシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック お客様ご相談センター

☎ 0120-878-365（パナは 365日）

フリーダイヤル（料金無料）365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
ナショナル／パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)
海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は....

TOKYO ☎ (03)3256-5444	OSAKA ☎ (06)6645-8787

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地区	電話	住所
札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎ (0166)31-6151	旭川市2条通21丁目左1号
帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西１９条南1丁目7-11
函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）

東北地区

地区	電話	住所
青森	☎ (0177)39-9712	青森市大字八ッ役字矢作1-37
秋田	☎ (018)826-1600	秋田市御所野湯本2丁目1-2
岩手	☎ (019)639-5120	盛岡市羽場１３地割30-3
宮城	☎ (022)375-2512	仙台市泉区市名坂字清水端59-2
山形	☎ (023)641-8100	山形市流通センター3丁目12-2
福島	☎ (0243)34-1301	福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

地区	電話	住所
栃木	☎ (028)632-8450	宇都宮市中央1丁目8-13
群馬	☎ (027)352-1217	高崎市萩原町沖中205-18
水戸	☎ (029)225-0119	水戸市柳河町309-2
つくば	☎ (0298)64-8090	つくば市花畑2丁目8-1
埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千葉	☎ (043)208-6011	千葉市中央区星久喜町172
船橋	☎ (047)334-5111	船橋市本中山6丁目11-7
柏	☎ (0471)63-8905	柏市北柏1丁目6-6
東京	☎ (03)5477-9780	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山梨	☎ (0552)22-5171	甲府市下飯田2丁目1-27
神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟	☎ (025)286-7725	新潟市東明1丁目8-14

中部地区

地区	電話	住所
石川	☎ (076)294-2683	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
富山	☎ (0764)32-8705	富山市寺島1298
福井	☎ (0776)54-5606	福井市開発4丁目112
長野	☎ (0263)58-0073	松本市大字笹賀7600-7
静岡	☎ (054)287-9000	静岡市西島765
名古屋	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岡崎	☎ (0564)55-5719	岡崎市岡町南久保28
岐阜	☎ (058)323-6010	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
高山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
三重	☎ (059)255-1380	久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

地区	電話	住所
滋賀	☎ (077)582-5021	守山市勝部町6丁目2-1
京都	☎ (075)672-9636	京都市南区上鳥羽石橋町20-1
大阪	☎ (06)6359-6225	大阪市北区本庄西1丁目1-7
奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市椎木町404-2
和歌山	☎ (0734)75-1311	和歌山市中島499-1
兵庫	☎ (078)272-6645	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

地区	電話	住所
鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎ (0852)23-1128	松江市西津田2丁目10-19
出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎ (086)292-1162	岡山県都窪郡早島町矢尾807
広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音8丁目13-20
山口	☎ (0839)86-4050	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

地区	電話	住所
香川	☎ (087)868-9477	高松市勅使町152-2
徳島	☎ (0886)98-1125	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
高知	☎ (0888)66-3142	南国市岡豊町中島331-1
愛媛	☎ (089)971-2144	松山市土居田町750-2

九州地区

地区	電話	住所
福岡	☎ (092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市本庄町大字本庄896-2
長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1949-1
大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎ (0985)85-6530	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2
熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
天草	☎ (0969)22-3125	本渡市港町18-11
鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大島	☎ (0997)53-5101	名瀬市矢之脇町10-5

沖縄地区

地区	電話	住所
沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。